

## 文化施設を中心とした文化観光の在り方に関する検討会議設置要項

令和元年 11月 7日

文化庁次長・観光庁次長 決定

### 1. 趣旨

2020年のオリンピック・パラリンピック等を契機に、我が国の豊富で多様な観光資源の主要なものである文化の魅力を国内外に発信することは、文化の振興においても、観光の振興においても非常に重要である。文化施設を中心とした文化観光の在り方に関する検討を進めるため、文化庁、観光庁、その他関係者間による「文化施設を中心とした文化観光の在り方に関する検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置する。

### 2. 検討事項

- (1) 文化施設を中心とした文化観光の在り方に関すること
- (2) その他

### 3. 開催方法

- (1) 検討会議は、別紙に掲げる委員で組織する。
- (2) 検討会議に座長及び副座長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- (3) 検討会議は、必要に応じて構成員以外の者の出席を求めるものとする。

### 4. 設置期間

令和元年 11月 7日～令和 2年 3月 31日

### 5. その他

検討委員会の庶務は、関係省庁及び関係各課室の協力を得て、文化庁企画調整課において処理する。

文化施設を中心とした文化観光の在り方に関する検討会議  
委員名簿

<委員>

氏 名	所 属
太下 義之	文化政策研究者
楓 千里	JTBハ°ブリツィンガ°
小林 真理	東京大学教授
佐々木 秀彦	東京都歴史文化財団企画担当課長
島谷 弘幸	九州国立博物館館長
丁野 朗	日本観光振興協会総合研究所
デービッド・アトキンソン	小西美術工藝社代表取締役社長
山野 智久	アソビユ-株式会社 代表取締役社長

(敬称略、50音順)